

事業テーマ：付着の少ない打錠機用金型の製作

事業者名：有限会社早川製作所 事業年度：平成28年度

Case

4

ものづくり技術

技術や設備投資の積み重ねによる他社では 実現できない難加工の実現

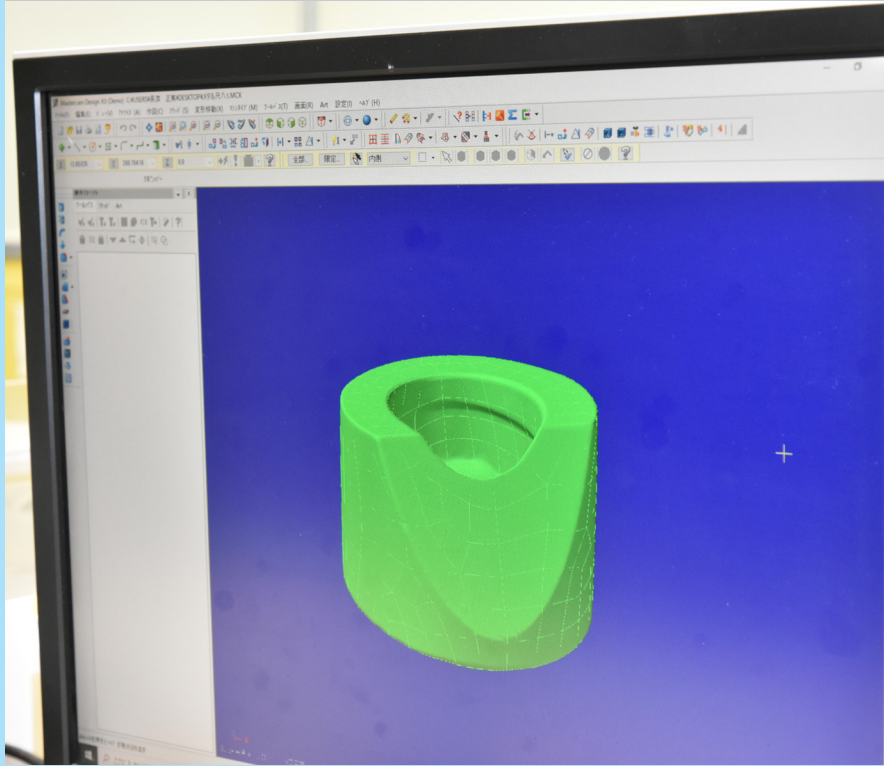
3DCAD/CAMを導入したことに加えて、過去からの技術や設備投資の積み重ねにより、従来よりも複雑な形状、高精度加工への対応が可能となった。

既存事業へ技術転用

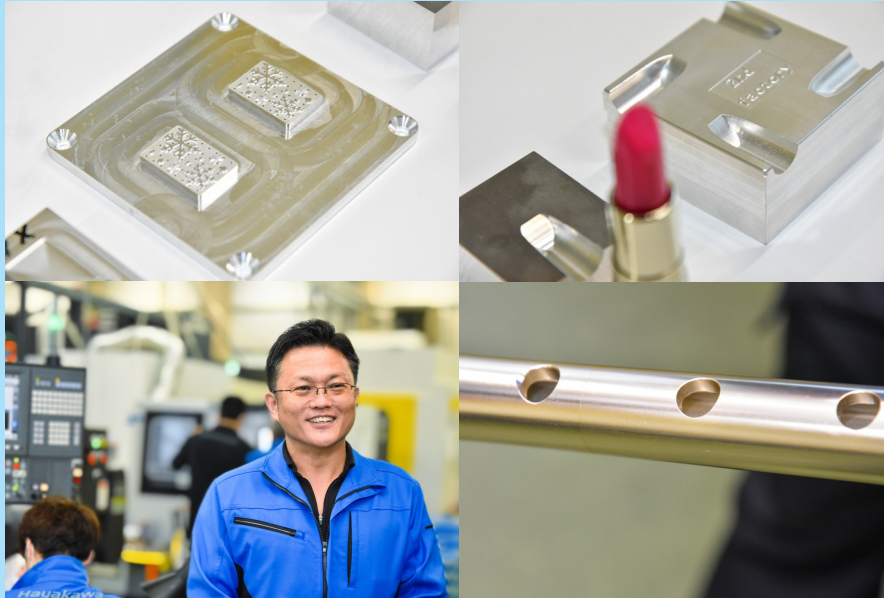
当社は高精度切削加工を中心に事業を行なっています。補助事業では粉末の化粧品を充填する技術を持つているお客様から、その技術を医薬品に転用して打錠機を製造したいとの打診があり、その金型開発に取組みました。錠剤を作るには粉末が金型に付着しないように面を平らにして剥離性をあげ、効率よく錠剤を作れるようにする必要がありました。刃物の回転数や種類、切削条件の設定等の試行錯誤を重ねて剥離性の高い金型の製造が実現できました。現在は、従来からの化粧品製造金型へ技術を転用し、パウダー製品の表面にデザイン性の高いレリーフをつけるような金型や、表面の質感を光沢やマットなど部分的に表現できるような口紅の金型など、面精度の高い金型製造を行なっています。

定期的な設備刷新

補助事業では、機能性の高いCAD/CAMを導入しました。当社では毎年設備投資を行なっ



導入したCAD/CAMシステム



左上・右上/デザイン性や表面の質感にこだわった金型 右下/演奏者と打合せを重ねて完成した尺八
左下/代表取締役の内川 竜太氏

企業概要



精密機械部品、精密治具部品の切削加工を行なっている。5軸加工やNC旋盤、マシニング加工を得意とし、難加工材やスーパーエンジニアリングプラスチックなどの材質などにも広く対応可能で、主に半導体製造装置部品、防衛航空・宇宙関連、通信機器関連、化粧品関連、医療機器関連と多岐に渡り、高精度精密加工を行なっている。

有限会社早川製作所

代表取締役 内川竜太

1962年10月

〒213-0032
川崎市高津区久地
3-8-31

23人

300万円

044-811-2277

金属製品製造業

WEBサイト



取材の現場から

当初1台だったCAD/CAMは現在では6台となり、多くの従業員が操作できる体制となっている。「設備を入れて売上になるには最低でも半年以上はかかる」と内川社長は話す。すぐに利益が出ない案件であっても技術力が高まるのであれば、と通常では受け入れ難い案件にも戦略的に挑戦していく組織風土が現在の実績を作り上げている。

現在は半導体業界を中心に依頼が増えています。新設備を導入してもほぼフル稼働状態となり大変ありがたい状況なのですが、今後は若手社員の教育のためのアカデミック用のマシンを常設し、時間を確保しながら従業員育成を充実させていきたいと考えています。

音色ないものに仕上がっています。音も実際の竹製の尺八と遜色ないものに仕上がっています。